

公共政策学連携研究部の岩谷 将教授が樫山純三賞を受賞

【賞の概要】

公益財団法人樫山奨学財団により、財団設立 30 周年を記念して平成 18 年度（2006 年）に創設された表彰事業で、設立者の遺志を尊重し、21 世紀初頭における国際社会の安定と進化にとってアジアとの共生が大切であることに鑑みて、現代アジアについて独創的で優れた図書の著者へ授与されるものです。

【受賞内容】

受賞作 『盧溝橋事件から日中戦争へ』（東京大学出版会）
受賞者 岩谷 将（北海道大学大学院公共政策学連携研究部 教授）
授賞式 令和 6 年 11 月 18 日（月）

【受賞理由】

当初は偶発的な発砲事件と思われた盧溝橋事件が、極地紛争で終わらず全面戦争たる日中戦争へと至った過程を、これまでの膨大な研究の成果や史料、さらに日中双方の新たな資料にあたって克明に追い、記し、分析した労作で、選考会において盧溝橋事件の決定版に近いとの高評を得ました。

お問い合わせ先

北海道大学大学院公共政策学連携研究部 教授 岩谷 将（いわたにのぶ）
T E L 011-706-3132 メール iwatani@juris.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）
T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp